

働く男のライフスタイル情報紙

# Biz Life Style

[ ビズスタ東京 ]

# 2021 06

特別版

『BizLifeStyle』は東京、関西、仙台、福岡、広島にて39万部発行  
下記URLまでアクセスを。

[www.biz-s.jp](http://www.biz-s.jp)

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは  
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社デイルスポーツ案内広告社  
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F  
© 2021 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



Bowers&Wilkins 702 S2  
希望小売価格：(1本)330,000円(税込)

## 高画質な写真に見惚れるように、 音楽も、高音質で。

ラジオ放送からアナログレコードやカセットテープへ、CDにMD、MP3やハイレゾ音源、ストリーミング配信へ。新しい技術は新しいスタイルを作り出すものだが、実は「音楽再生」こそ劇的な変化を遂げた趣味分野の筆頭でもあることにお気付きだろうか。

かつてはシングルカットされていなかった「隠れた名曲」を聴くためにはアルバム1枚を買う必要があったが、今やスマホでその曲をタップするだけ。それどころか、専用DJよろしく個人の好みをピンポイントで捉えたレコメンドまでしてくれるのだから、音楽との関わり方は本当に多様になった。

IoTガジェットを筆頭に技術の革新を実感できる製品が次々と登場する中、もちろん音楽再生の分野も目覚ましい進化を遂げている。たとえばイヤホンひとつを取っても「高音質」は当たり前で、デザインや音の傾向も選び放題。時期は完全ワイヤレスタイプが一般メディアでも話題になったものだが、ほかに目をみはるオーディオ製品は多い。

ひとつ困るのは、その魅力は言葉で説明するのが難しいということだ。映画館はりの空間を作るサラウンドシステムなら設置例を見るだけでも魅力が伝わるし、全居室で音楽を再生できるネットワークプレーヤーは概念が分かりやすい。だが、そうした特徴を持たない製品は、文字通り肌感覚で体験するしかない。

「メディアではないの、音質にはこだわらない」と言っながら。初めてスマホで写真を撮った時、画質の美しさに驚き、今はそれを当たり前と感じているなら、音楽の感動に気付かないわけがない。表現上の特殊な理由がなければ美しい被写体を低画質で撮るうと思わないのと同様に、尊敬するアーティストが発する音の質感や迫力、表情の豊かさを無視するなんて……。

というわけで、今回は令和最新の「音」を特集。おうち時間の充実にも最適なオーディオの世界を眺めてみよう。



My Favorite Life Style



音楽も、映像も、「音質」が勝負。おうち時間が楽しみになる、令和最新のオーディオ&AV製品の実力。

**新しいフォーマットが世に出ると古い方式から振り換えるのが私たちの常だが、音楽はまさにその代表例。レコードの時代を知る「アナログ」は今もPCやスマホで音楽を楽しんでいる方も多いだろう。今回はオーディオ特集だが、特定のフォーマットに縛られることはない。過去のCDコレクションを活かしたい方も、ストリーミングのみで手軽に楽しみたい方にも問題なく対応でき、さらには人気のアナログレコードのシステムなどにも容易に拡張できるので、どうぞご安心を。**

**プレーヤー・アンプ・スピーカー豊かな音楽鑑賞を担う三種の神器**

では、まず趣味で楽しむ音楽再生の基本から、と書いても話も簡単。オーディオにはさまざまな製品が溢れているが、ひとまず「音楽データを再生するプレーヤー」「プレーヤーから送り出された音を増幅したり、入力ソースを切り替えたりするアンプ」「音を奏でるスピーカー」の3つから成り立つと考えてOKだ。よく耳にする「Hi-Fi」「ハイファイ」とは、再生音の音質が高いことを示す。アーティスト本人やプロデューサー、録音エンジニアらが意図した原音をいかに忠実に、豊かに再生するかがハイファイオーディオ

音楽だけが「音」ではない  
映像のための音響も高音質化

今回は音のクオリティを楽しむ製品を特集しているが、自宅で楽しむ音はオーディオだけでは、と言いつつ、むしろこのシーンを想起する人も少なくないかもしれない。そう、ホームシアターだ。壁掛けも可能な薄型製品が気に主流へと躍り出たテレビ製品も、同時に画面サイズも見る見る拡大。ごく一般的な家庭でも40インチ以上は当たり前の前より、ちょっとこだわらなければ85インチ級も特別な驚きではなくなった。画質の進化も目覚ましく、4K液晶や有機ELなど超画質モデルも続々と登場。見ればひと目で分かる分、オーディオ分野より実感しやすいはずだ。

音楽と同様に、ソフトウェアのスタイルも大きく変化した。DVDからブルーレイへ、そして4Kオーディオデータの配信サービスも、映画やドラマ、アニメやドキュメンタリーなど膨大なコンテンツを手軽に楽しめる。あ、やはり一気に定着した。

と、こうわけで、「普通のテレビと配信サービスがあれば、十分な画質で楽しめる現代」そこで質問だ。「なるほど。では、音質は？」

映画館の環境を思い出し、みよ



洗練されたデザインのおしゃれなMarantz製品の特徴だ。写真の通り、セットで置いた時のベストコーディネート感も特筆モノ。豊かな音への期待感に満ちた面構えが素晴らしい。  
【上】Marantz SACD 30n 希望小売価格:297,000円(税込)  
【下】Marantz MODEL 30 希望小売価格:297,000円(税込)

の使命というところになる。高音質なのは分かるが、そのままの音が必要なのか、よく耳にする議論だが、そんな疑問をもちても、本物のハイファイオーディオの再生音を聴けば大半の方が意見を180度変えるだろう。歴史上の偉人から今の新人まで、憧れのアーティストが目の前に現れて演奏しているような臨場感。テンパリの囀りに腰が浮き、ウタイオンの艶めかしさにハラハラし、手が届く位置で歌うヴォーカルに体温が上がる。好きを通り越して聴き飽きたはずの楽曲さえ、聴いたことがなかった音を発見する感が味わえる。それがハイファイオーディオの世界なのだ。

**全曲を聴き直さずにはいけない  
そんな感動を手に入れる製品たち**

こうした感動は、上記の三種の神器さえ吟味すれば、手近なストリーミング配信でも醇醇味を味わえる。近年はCD再生と同等級以上の高音質サービスも登場している。配信オンリーでもまったく問題ない。

では、どんな機材を揃えればいいのか。熟考を始めたら時間も資金も足りない「沼」と呼ばれる世界なので、これはティーン愛好者たちが無言で頷く定番システムを



世界のオーディオファンはもちろん、アビー・ロードスタジオなどの録音スタジオのリファレンスとしても使われているスピーカーの名ブランド。自他ともに認めるMarantz製品との相性もポイント。  
**Bowers & Wilkins 705 S2 Signature**  
ペア 希望小売価格:388,300円(税込)

う、迫力の映像は当然のだが、厳めしい軍用ヘリが上空を旋回する緊迫の場面も、轟音と爆発炎上する建物も、主人公の心情を代弁する雨のシーンも、音が重要な役割を果たしていたはず。と言いつつ、感動の半分は音響空間によって、決して不思議に感じないはずだ。

前後左右に土の概念を加えた「マルチアクト」をはじめ、近年の技術革新がとまるところを知らないホームシアターサウンドだが、四方八方で鳴り、文字通り全身が包まれる音響空間なんて、自宅で再現できるのか。もちろん、「できる」のだ。

**本格13.2chサウンドに、サウンドバー、ホームシアター系システムの魅力**

写真は、AV製品の名門Denonの創立100周年を記念したモデル、8K対応の13.2chのサウンドアンプだ。8Kは4Kの4倍の画素数、チャンネル数はスピーカーの数と考えればよいだろう。平たく言えば、この製品を中心にシステムを組めば、「自宅に映画館並みの音響空間」が本当に作れる。1台で何と10台以上ものスピーカーを駆動させることができるのだが、左右ハアのステレオ環境や最も基本

的なサウンドの5.1ch構成も可能なので、計画的段階的に拡張していくこともできる。フルで組めば、最新の映像ソフトや配信動画のポテンシャルを最大限に引き出す本物の自宅シアターを構築可能なのだ。

手軽にシアター系3Dサウンドの臨場感を楽しむなら、同じくDenonのサウンドバーがおすすめ。バーチャルサウンドを提供するサウンドバーはテレビの前に置くのが常識だが、設置した際の風景を計算したデザイン性の高さもポイントだ。Denon製品なので、当然のことながら音質面でも、当然テレビの内蔵スピーカーで聴いている家庭ならその表現力の違いに驚くことだろう。映画だけでなく、YouTubeなどの番組も劇的に変わるの、ぜひ体験を。

また、いずれもワイヤレスでマルチルーム再生環境を実現するHEOSにも対応している点にも注目だ。無料の専用アプリが用意されている。設置から各種操作、ストリーミングサービスの利用やネットワーク再生までスマホやタブレットで集中的にコントロールできるため、觀賞の自由度がグッと向上。音質だけでなく、スタイル自体を洗練してくれるのも、現代の「音」の楽しみ方だ。



普通の製品に見えるが、これ1台で何と10台以上のスピーカーを制御できる13.2chのMonster AVアンプ。前後左右に加え、上から降り注ぐ音を収録できる「Dolby Atmos」など、現代の最新規格に対応した旗艦モデルだ。  
**Denon AVC-A110** 希望小売価格:748,000円(税込)



主に薄型テレビの前に設置するスピーカーをサウンドバーと呼ぶ。サラウンド音声を擬似3Dで再生できるが、Denon製品は音質自体にもこだわりを発揮。テレビのスピーカーからのグレードアップなら、設置直後の音の凄さに驚くはずだ。  
**Denon Denon Home Sound Bar 550** オープン価格



Denon Home 250  
オープン価格

## HEOSテクノロジー搭載、アイデア自在のネットワークスピーカー

中面の最後に少し触れたが、最新の音楽ストリーミングサービスを手軽にかつ快適に楽しめる環境を構築できる「HEOS」テクノロジーは、対応機種が随時発売されている。そのひとつが、デノンの人気機種「Denon Home 500および250」だ。

WiFi接続のアンプを搭載したスピーカーで、スマホやタブレットのHEOSアプリから操作が可能だが、ポインとはやはり音質。コンパクトなスピーカーだが、侮ることなかれ。デノンのHi-Fiコンポーネントにも通じる明瞭かつ繊細な表現力を実現している。また、Bluetoothスピーカーとは異なり、ひとたび再生を始めればスマホの着信音や

## まるでリマスター音源のよう…圧倒的な鮮度で鳴る定番ヘッドホン

ここまで紹介した製品を選べば、屋内での音楽ライフのクオリティアップは約束されたも同然。一度体験すれば、もう低音質環境に戻ることはできない。外出の際にもこの音を持ち出したい、夜間も我慢せずに満喫したい…と欲張りになるのが人情。そこで注目したいのが、マランツ製品のパートナーに選んだスピーカーブランド、Bowers&Wilkinsの「800」シリーズのエンジンアチームが設計を手がけた密閉型のワイヤレスモデル

で、環境に合わせた高性能ノイズキャンセリング機能を搭載。オートモードを選んだら、4つのマイクを搭載するセンサーが適切な設定を行ってくれるので、本気の音楽観賞に集中できる。白眉はもちろん音質だ。各種メディアやレコーダーでは「同じ曲でもリマスター盤かと錯覚するよう」な「絶賛されるほどの鮮度」が特徴。加えて、耳から外して首にかけてと時停止になり、装着し直すと再生に復帰…といった充実のオート機能のサポートも至れり尽くせりの領域。超高音質の音楽体験と現代最先端の快適性を1台で両得できるので、ぜひ試聴されたし。

Bowers&Wilkins PX7  
オープン価格

## Biz Life Style Pick up

## 》》》 東武百貨店池袋店に注目のオーディオショップがオープン

昨今のオーディオ人気の再燃を受けて、この春、東武百貨店池袋店にオーディオ専門の新ショップ「オーディオサロン」がオープン。今回、本誌で紹介したデノンやマランツ、Bowers&Wilkinsの各製品は、いずれも試聴機が用意されている。なお、各社ともラインナップの上から下まで豊富に揃えているので、聴き比べ、相談して、ベストシステムを構築するのも楽しい。もしかすると、一生モノの趣味に出会う記念日になるかもしれないので、ぜひ訪問を。

## ビズスタ特典

オーディオサロンの店頭にて  
Bowers&Wilkins オリジナルノベルティをプレゼント

※先着順、なくなり次第終了となりますので、品切れの際はご容赦ください。  
※店頭でスタッフに「ビズスタを見た」とお伝えください。



## 東武百貨店 池袋店 5F 1番地 オーディオサロン

東京都豊島区西池袋1-1-25

TEL.(直通)03-5904-9003 営業時間:午前10時30分~午後7時

※諸般の事情により、営業時間が変更となる場合がございます。

詳しくは、ホームページなどをご確認ください。

マランツ

www.marantz.jp



デノン

www.denon.jp



Bowers&amp;Wilkins

www.bowerswilkins.com/ja-jp

